

●チケット料金 (8月20日 (土) より販売開始)

- フリーパス券=4,500円
(9/17~25に行われる全ての上映作品をご覧ください)
- 回数券 (4枚綴り) =3,000円
- 1回券 <前売券> =800円、 <当日券> =1,000円
- 子ども・学生 <前売券> =600円
<当日券> =800円 (3歳以下無料)

●チケット販売 (市外局番0266)

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 茅野 | ◆ 夢科ピレリッジ夢科営業所 ☎67-2411 |
| ◆ 新星劇場 ☎72-2310 | ◆ 夢科商事 ☎72-7185 |
| ◆ 茅野市民館 ☎82-8222 | ◆ 今井書店 ☎72-1240 |
| ◆ 茅野市中央公民館 ☎72-3266 | ◆ 茅野市観光課 ☎72-2101 |
| ◆ シマダヤ楽器店 ☎72-2872 | ◆ 富士見 |
| ◆ ベーカーキッチン・ブチドール ☎72-5385 | ◆ 今井書店 ふじみ店 ☎61-2211 |
| ◆ 茅野商工会議所 ☎72-2800 | ◆ 諏訪 |
| ◆ 茅野市観光案内所 ☎73-8550 | ◆ 平安堂 諏訪店 ☎53-4545 |
| ◆ 夢科観光案内所 ☎67-2222 | ◆ 下諏訪 |
| ◆ アルピコリゾート&ライブ(株) ☎67-2100 | ◆ 長崎酒店 ☎27-7440 |
| ◆ (株) 三井の森 ☎76-2101 | ◆ 岡谷 |
| ◆ 鹿島リゾート(株) ☎76-2211 | ◆ 笠原書店(本店) ☎23-5070 |
| ◆ (株) 東急リゾートサービス ☎69-3211 | ◆ 岡谷スカラ座 ☎22-2773
(順不同) |

●会場のご案内

●茅野市民館
茅野市塚原 ☎0266-82-8222

●新星劇場
茅野市仲町 ☎0266-72-2310

●無藝荘
夢科観光協会 ☎0266-67-2222

9月24日(土)・25日(日)は茅野市民館から無藝荘までシャトルバスを運行します。時刻は中面に記載。

※ P は映画祭期間中駐車可
※ P は3時間無料です (市営)

- 主催: 「小津安二郎記念・夢科高原映画祭」実行委員会
- 共催: 茅野市 / (一社) ちの観光まちづくり推進機構
- 後援: 松竹(株) / 日本映画監督協会 / 日本映画撮影監督協会
- 協力: 諏訪圏フィルムコミッション

上映スケジュール

◆ゲスト・上映作品・日程等は変更する場合があります。◆チケットの払い戻しはいたしません。◆完全入れ替え制のため、お席のお取り置き等はご遠慮ください。◆座席数は感染防止のため、定数以下に制限させていただきます。

9月	会場	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
17 (土)	新星劇場	9:40 オープニング	10:00~ 大河への道 (112分)			14:00~ サヨナラまでの30分 (114分)				18:00~ 20歳のソウル (136分)			
18 (日)	新星劇場		10:00~ SING/シング:ネクストステージ (110分)			14:00~ キネマの神様 (125分)				18:00~ だれもが愛しいチャンピオン (118分)			
19 (月)	新星劇場		10:00~ ぶらりぐらし (65分) 宵の月のまほうのこ			14:00~ 老後の資金がありません! (115分)				18:00~ ブータン 山の教室 (110分)			
20 (火)	新星劇場		10:00~ 男はつらいよ お帰り寅さん (116分)			14:00~ 日本独立 (127分)				19:00~ 流浪の月 (150分)			
21 (水)	新星劇場		10:00~ 洗骨 (111分)			14:00~ ブータン 山の教室 (110分)				19:00~ だれもが愛しいチャンピオン (118分)			
22 (木)	新星劇場		10:00~ ワン・セカンド (103分) 永遠の24フレーム			14:00~ 大河への道 (112分)				19:00~ サヨナラまでの30分 (114分)			
23 (金)	新星劇場		10:00~ ぶらりぐらし (65分) 宵の月のまほうのこ		13:00~ SING/シング:ネクストステージ (110分)				16:30~ 花岡咲さん(俳優)トーク	19:00~ 古本恭一監督トーク			
24 (土)	茅野市民館	9:35~ ピーターパン (75分)		12:00~ 兼松熙太郎監督トーク		15:30~ キネマの神様 (125分)				18:30~ ドライブ・マイ・カー (179分)			
24 (土)	新星劇場		10:00~ SING/シング:ネクストステージ (110分)			14:00~ 短編グランプリ 作品上映 無料		16:00~ 伊藤俊也監督トーク		19:30~ 20歳のソウル (136分)			
24 (土)	茅野市民館		10:00~ 洗骨 (111分)		13:00~ 流浪の月 (150分)				17:00~ 男はつらいよ お帰り寅さん (116分)				
25 (日)	新星劇場	9:30~ 工藤雅典監督作品上映 無料 短編入選作品上映		13:30~ HIKARI監督トーク		16:30~ 老後の資金がありません! (115分)				19:30~ ワン・セカンド (103分) 永遠の24フレーム			
25 (日)	市民館 コンサートホール			13:00~ 中井貴恵さん 「音語りー麥秋」									

ご来場ゲスト



澤登翠さん/活動写真弁士 「ピーター・パン」

1972年故松田春雄入門。弁士の第一人者として国内外の公演を通して幅広い世代に活弁の魅力を広げている。活弁の継承者としての活動が評価され文化庁映画賞・松尾芸能賞特別賞他数々の賞を受賞。'15年「文藝春秋」に掲載の「日本を代表する女性120人」にも選出されている。本年、デビュー50周年を迎える。



中井貴恵さん <音語り> 「麥秋」

音楽と朗読を合体させた朗読公演「音語り」を全国各地で精力的に展開している。主な作品は絵本を題材に「あらしのよるに」、「さいころいばげつ」、小津監督映画作品より「晩春」「お早よう」「東京物語」「秋刀魚の味」「麥秋」など。



HIKARI 監督 「37セカンズ」

大阪市出身、ロサンゼルス在住の脚本家、監督、プロデューサー。長編映画デビュー作「37Seconds」は第69回ベルリン国際映画祭パノラマ部門にて歴代初の観客賞と国際連盟アートシネマ賞を受賞し、新人監督賞にミネネ、その他、新藤兼人賞金賞やAsian Film Awardsなどを受賞。



兼松熙太郎監督 撮影監督「お早よう」

1937年東京都生まれ。50年松竹大船撮影所入社。撮影監督厚田雄春、小杉正雄に師事し小津安二郎監督作品「彼岸花」「お早よう」「秋日和」。70年よりフリーの撮影監督。1,000本を超えるTVコマーシャル、日本初の大規模映像IMAX作品などの撮影監督を務める。



照屋年之監督 (ガレッジセール ゴリ) 「洗骨」

1972年5月22日生。沖縄県那覇市出身。吉本興業所属。沖縄県立首里高等学校卒業、日本大学芸術学部映画学科中退。川田広樹と組み、お笑いコンビガレッジセールを結成、ボケを担当。俳優、映画監督。海外でも俳優として活動中。



花岡咲さん-俳優 「アクトレス・モニター・ジョ」

1997年生。徳島県出身。映画では小林啓一監督の「恋は光」花岡役(22年6月)、松田直也監督の「なれたら」白浜愛子役(22年7月)、本広克行監督企画・水口敏蔵監督の「アクトレス・モニター・ジョ」主演(21年12月)、原正弘監督「愛せなければ通過せよ」準主演遠山玲奈役(20年)など。その他映画、TVなどで活躍中。



伊藤俊也監督 「日本独立」

60年東京大学文学部卒業、東京東京撮影所入り助監督。72年「女囚701号さそり」監督デビュー。「誘拐報道」「白蛇抄」「花いちもんめ。」「風の又三郎 ガラスのマン」など高い評価を受け、03年業績賞を受賞。最新作は、GHQ占領下における日本国憲法成立の実態を描いた「日本独立」。



古本恭一監督 「CODE-D 魔女たちの消えた家」

監督作品「アンゴウ」でPFF審査員特別賞受賞他、国内外で受賞、海外映画祭招待多数。小津安二郎記念・夢科高原映画祭においては「アインの光」(04)でグランプリ、「アイン、ウタ」(00)「ワタシノイエ」(09)入選など受賞。海外でも俳優として活動中。



カラード・モントーデオ 「ピーター・パン」

1994年に結成された無声映画の伴奏音楽(生演奏)を担当する専門合奏団。現在は澤登翠さんら活動弁士と共に各地で演奏している。

第21回 短編映画コンクール

今年は167作品もの応募をいただき、次世代を担う若き監督たちに感謝申し上げます。その中より、短編特別審査員・審査員長によりグランプリ作品が選ばれます。

9月24日(土) 14:00~ 新星劇場にて
グランプリ作品上映

9月25日(日) 9:30~ 新星劇場にて
短編入選作品一挙上映

無料

短編審査員長

短編特別審査員

伊藤俊也監督

工藤雅典監督 椿原久平監督 富永憲治監督 鈴木元監督

上映スケジュールはホームページ・SNS等でお知らせします。

短編映画コンクール入選作品 (五十音順)

雨空とラジオ
大根田良樹監督
父の入院のために実家に帰省した兄妹。父よりも母の認知症を心配したり、仕事のことや恋人のことで喧嘩をしながら、母からの電話が鳴り始める。どこにもある雨空の晩の家族の話。

うちのじいじは字が書けない
諸江亮監督
飽学嫌いな小5の香葉は、じいじがちょっと苦手。いつも「宿題、終わったか?」と口うるさいから…。ある日、香葉はじいじの書いた手紙を見て驚く。まことに字を書けないじいじを、香葉は馬鹿にして無視する。

おめでとう、ありがとう。
飯野歩監督
幼い頃の両親の離婚により、離れ離れに暮らす娘とその父親。年に数回だけのメールのやりとり。

ガラッパどんと暮らす村
若見あり監督
その土地の言葉で実話や民話を織り交せて語り継いだ文化は「物語」に交えた「人の繋がり」、平穏な日常への願いであった。語り部からの音声をアニメーション化した。

正疑? -Justice?-
峯岸バイン監督
上司の不正を知った保身のために黙認していたヒロアキ。あることをきっかけに告発することに決めるが、その決断が思わぬ事態を引き起こす。

世界で一番すばらしい俺
山森正志監督
高校の音楽部に所属する「俺」。パートはコントラバス。低くねるコンパスの音をききながら、赤い自転車に乗った女子高生のぞみと出会う。彼女と関わるなかで俺は自分のあり方を見つめ直す。

だから僕は見えないフリをした
naka ch 中村佳紀監督
たった一人の親友と初恋相手が被ってしまうストーリーを、異なった画角から映し出す新感覚の短編作品。

つなぐ。
阪上仁美監督
高校生のハルは、亡き母と同じ管理栄養士を目指す。一人暮らしをしながら、料理に関しては今ひとつ。そんな時が最後に残したレシピノートを手取る。母との記憶が蘇る。

バリアフルライフ
山村もみ夫。監督
柴崎若葉は喫茶店で珈琲を飲みたい。ラジオと、差別と、住む世界と、若葉が喫茶店で珈琲を飲むまでのお話。

小津監督が一貫して描き続けた「家族」をテーマに「小津」の精神を念頭に置きながら珠玉の映画上映、ゲストによる舞台トークを繰り広げます。



映画界初の芸術院賞受賞 名匠小津安二郎監督作品

庶民の生活感と真摯な心の揺らぎをこみあげる笑いと感動!

アソファカラー 総天然色

脚本 野田高梧 監督 小津安二郎

お早よう

佐田啓二・久我美子・三宅邦子・渡田幸明
島京子・三好栄子・田中春男・東野英治郎
長岡輝子・須賀不二夫・大泉滉・渡辺山幸司
高橋とよ・上村貞子・杉村春子・笠智衆

松竹映画

2022年 開催日 9/17(土) ▶ 25(日)

第25回 小津安二郎記念 夢科高原映画祭

実行委員会事務局 / 茅野市役所 観光課
〒391-8501 長野県茅野市塚原2-6-1
TEL.0266-72-2101 FAX.0266-72-5833

最新情報はホームページで 夢科高原映画祭 検索

当映画祭は、新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期して開催します。ご来場の皆様は、検温、マスクの着用、手指消毒等の感染対策にご協力をお願いします。なお、今後の感染状況によってはイベントが大幅に変更となる場合があります。

小津安二郎から21世紀の映画へ